

和歌山太陽誘電株式会社

〒649-1532 和歌山県日高郡印南町印南原4026番地22
電話 (0738) 44-0241 (代表)
<https://www.wakayama-yuden.co.jp/>



この印刷物は、FSC®認証紙を使用し、Non-VOCインキを使い、ISO14001認証工場において「水なし印刷」で印刷しています。また、省資源化(フィルムレス)に繋がるCTPにより製版しています。

すべての ステークホルダーから 信頼され感動を与える エクセレントカンパニーへ

高品質・高性能な電子部品を
世界中に供給している太陽誘電グループ。

和歌山太陽誘電はパワーインダクタの生産拠点として
世界最高水準の「ものづくり」に挑戦しています。

新商品の開発～量産立上、標準化まで一貫した生産活動により
確かな品質の商品を世界中のお客様に供給する。
これが私たちの使命であると考えています。

今後、より一層小型化・高機能化していく
インダクタの進化・成長を通して社会貢献するとともに
あらゆるステークホルダーの皆様から
信頼される会社になることをお約束いたします。



ごあいさつ

和歌山太陽誘電株式会社は1971年に電子機械部品の製造および自動省力化機器の設計・製作を目的として和歌山県の印南の地でスタートいたしました。設立当初より蓄積した生産技術力を活かし、1980年より電子部品の一種である抵抗器の生産・販売を開始し、その後もチャレンジする精神を持って、コンデンサ・巻線チップインダクタの生産に取り組んでまいりました。

現在は太陽誘電グループにおけるパワーインダクタの主力生産拠点として、急速に変化する市場ニーズに的確に応えることができるよう、開発をベースにし、現場第一主義に徹した、品質にこだわるものづくりに取り組んでいます。

今後もチャレンジする精神を持ち続け、世界No.1商品を発信し続けることがわれわれの使命であると考えています。さらなる企業体質の改善と成長戦略を遂行し、会社の発展とともに、地域社会への貢献、従業員の幸福を実現し、すべてのステークホルダーから信頼され感動を与えるエクセレントカンパニーをめざしてまいります。

代表取締役社長 稲葉 一夫

幅広い電子機器に用いられる 和歌山太陽誘電 のインダクタ

和歌山太陽誘電は、太陽誘電グループにおけるパワーインダクタの主力生産拠点として、家庭、産業、社会の幅広い分野で用いられる電子機器の高度化、省エネ化、コンパクト化などに貢献しています。



▶ インダクタの役割

インダクタとは、
どんな部品

インダクタは電子回路に組み込まれ、主に「電圧を安定させる」「電気信号を整える」働きをしています。

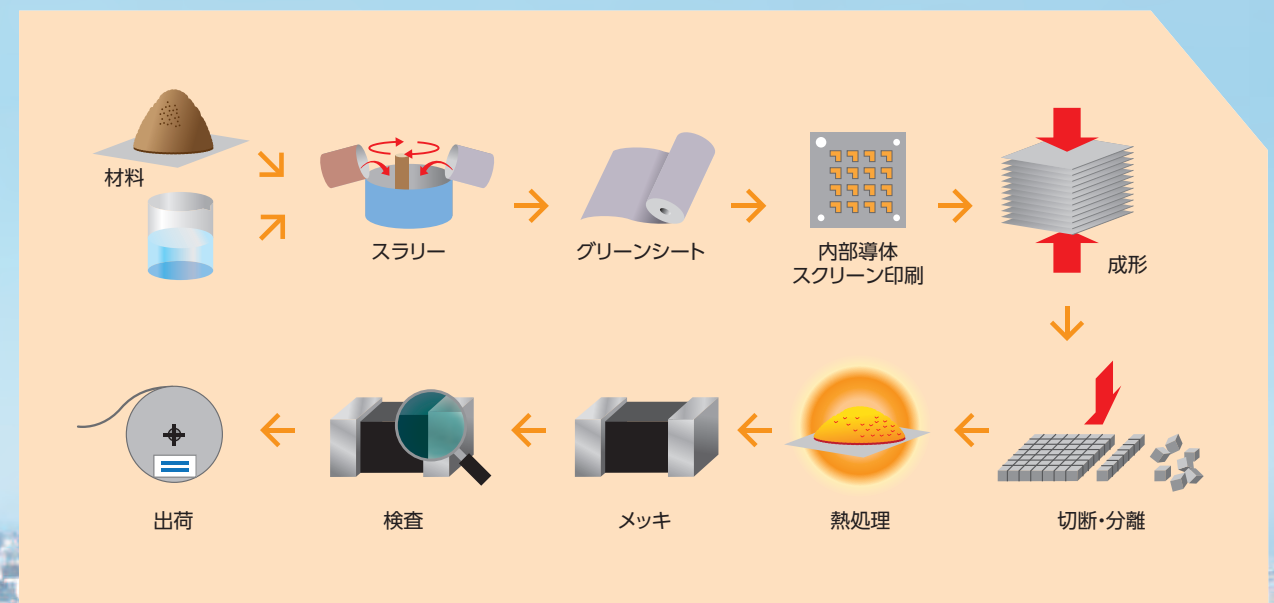
Q 「電圧を安定させる」とは

A スマートフォンなどの電子機器には、無線通信やカメラ、液晶表示などさまざまな機能があり、それぞれに最適な電圧が異なります。そのため、電源から受け取った電気を最適な電圧に変換するための変圧器が必要となります。インダクタはこの変圧器を構成する必須部品で、最適化した電圧が変動しないようにサポートする働きをしています。

Q 「電気信号を整える」とは

A 電子機器の内部には、多くの電子部品や回路が密集しています。ある回路が発する電気信号が、周囲の部品の動作に悪影響（ノイズ）を与えないようにブロックしたり、必要な信号だけを選別したりする（フィルタリング）働きをしています。

▶ パワーインダクタの生産プロセス



企業市民としての取り組み

私たちは、企業として経済価値を高めていくと同時に、利害関係者からの要求や期待に応え社会的責任を果たすことで社会価値を高めていきたいと考えています。そのために、製品の安全や品質はもちろんのこと、労働・人権、安全衛生、環境、倫理にも責任を持って取り組んでいきます。

▶ 太陽誘電グループ 社会的責任に関する憲章 (CSR憲章)

太陽誘電グループは、社会から信頼され、愛されるために、人権を尊重し、あらゆる法令や国際ルールおよびその精神を遵守するとともに、高い道徳観、倫理観に基づき、社会的良識をもって行動します。

事業

- ・社会的に有用な製品・サービスを安全性に十分配慮して開発・提供し、お客様の信頼を獲得します。
- ・事業活動が与える環境影響を低減し、地球環境保全に取り組めます。
- ・公正、透明、自由な競争を行うとともに、政治・行政、市民及び団体との健全な関係を維持します。

人

- ・多様性を理解し、あらゆる人々の人格、個性を尊重します。
- ・安心して働ける環境作りに努めます。

社会

- ・各国、地域との調和を大切にするとともに、社会貢献活動に取り組めます。
- ・広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報の適時適切な開示に努めます。

地域社会への活動

● ものづくり教室の開催



地域のイベントへ参加し、町内の小学生を対象に「ものづくり教室」を開催しています。普段使うことのない工具を使用し、つくる楽しさを体験していただきたいと思います。取り組んでいます。

安全衛生活動

● 消火器訓練



定期的に、消防署の協力を得て消火器訓練を行っています。

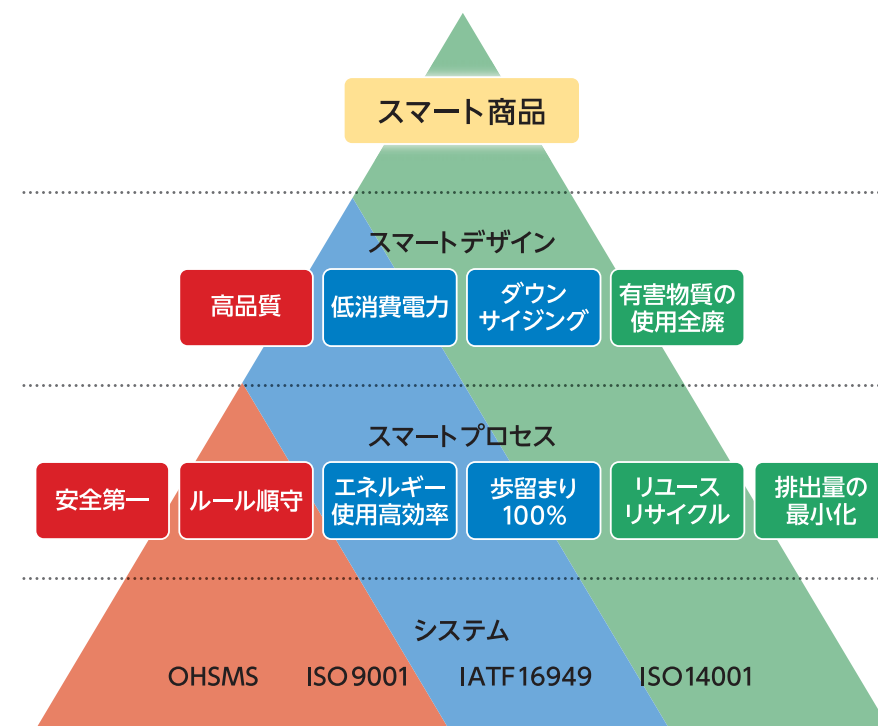
● 救命救急(AED)訓練



予期しない緊急事態に備えて人工呼吸やマッサージなどを学ぶ「救命救急訓練」を行っています。

▶ スマート商品への取り組み

すべてのステークホルダーから信頼され
感動を与えるエクセレントカンパニーへ



スマート デザイン	高品質	顧客要求を満足し、信頼の高い製品
	低消費電力	優れた能力をもち、電力を大量消費しない製品
	ダウンサイジング	少ない材料で大きな能力を発揮し、最終商品の小型化・高機能化に貢献する製品
	有害物質の使用全廃	有害物質を含まない製品

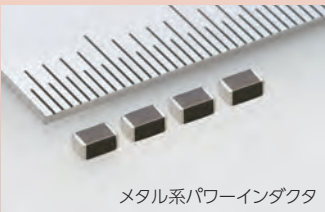
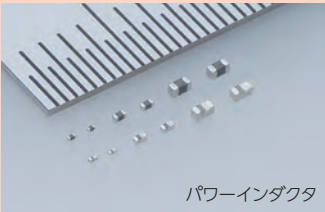
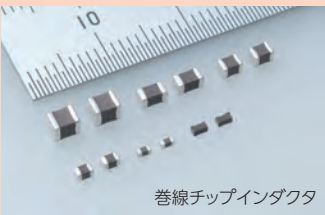
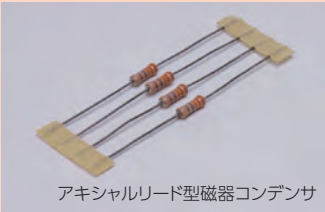
スマート プロセス	安全第一	安全が考慮された生産工程で作業者がムリなく、安心して作業できる
	ルール順守	ものづくりにおけるばらつきを小さくするため、標準化された手順に従って作業する
	エネルギー使用高効率	ものづくりで使用するエネルギーを極小化する
	歩留まり100%	高品質な製品を安定生産し、不良品などのムダを発生させない
	リユース・リサイクル	生産に必要な材料はできる限りリユース(再使用)品・リサイクル(再利用)品を使用する
	排出量の最小化	生産工程におけるムダと排出物をできる限りゼロに近づける

システム	労働安全衛生、品質、環境などのマネジメントシステムであるOHSMS、ISO9001、IATF16949、ISO14001をスマート商品開発の推進ツールとして活用する
------	--

Network

和歌山太陽誘電の歴史

1971年 4月	電子機械部品の製造及び自動省力化機器の設計・制作を目的とし、資本金500万円で中紀精機株式会社(現、和歌山太陽誘電)を設立
1973年 7月	炭素皮膜固定抵抗器の製造設備の設計・製作を開始
1974年10月	炭素皮膜固定抵抗器の製造設備の生産を開始
1980年12月	炭素皮膜固定抵抗器の生産・販売を開始
1985年 8月	太陽誘電株式会社より資本参加(比率:50.0%)
1989年 8月	和歌山県日高郡印南町に稲原工場(現、本社)が完成 アキシタルリード型磁器コンデンサの生産販売を開始
1994年11月	ISO9001(品質マネジメントシステム)の認証取得
1999年12月	巻線チップインダクタ(コイル)の生産開始
2000年12月	ISO14001(環境マネジメントシステム)の認証取得
2006年12月	パワーインダクタの生産開始
2007年 5月	太陽誘電株式会社出資比率88.1%へ変更
2011年 1月	本社所在地を現在の場所へ移転
2011年 8月	太陽誘電株式会社出資比率100%へ変更
2014年 6月	メタル系パワーインダクタの生産を開始
2015年 7月	社名を「中紀精機株式会社」から「和歌山太陽誘電株式会社」へ変更 焼成棟を竣工
2016年 4月	間接棟を竣工
2018年 9月	世界初、1005サイズメタル系パワーインダクタを商品化
2022年 2月	新棟を竣工



会社概要

商号	和歌山太陽誘電株式会社 (WAKAYAMA TAIYO YUDEN CO., LTD.)
所在地	和歌山県日高郡印南町印南原4026番地22
代表	代表取締役社長 稲葉 一夫
設立	1971(昭和46)年4月21日
資本金	1億円(太陽誘電株式会社 出資比率:100%)
事業内容	電子部品製造
主要製品	パワーインダクタ
従業員数	238名(2024年3月現在)
URL	https://www.wakayama-yuden.co.jp/

